田中江町 川村 忠夫

縁あってまちづくりのサロン研修旅行に参加させて頂きました。

旅行のメイン、熊野古道散策と南方熊楠記念館見学は以前から訪れてみたいと思っていた所でした。その他、谷瀬の吊橋、熊野本宮も初めて訪れる所であり、すべての面でとても満足させて頂き感謝しています。

さて、目的地までの道程は奈良県の中央部吉野の山並みが迫り、これらの麓を縫って道は延びています。一見淋しい山里ですが、この地方はかつての日本歴史の一時代一ページを飾る南北朝の悲哀を秘めた舞台だったのです。

これをガイドさんが詳しく感情をこめて話して下さり、思わず身をのり出して耳を傾けました。

小学生のころ、歴史、国語で教わったことを懐かしく思い出し60年ぶりに聞く言葉も沢山出ていました。楠木父子の「桜井の別れ」、児島高則の桜の幹の詩「天勾踐を空しゅうするなかれ時に范蠡無きにしも非ず」「船坂山や杉坂と御跡慕いて院の庄」唱歌で習ったのを口ずさみました。このような中で思いの他、疲れを忘れさず車中でした。

午後からの熊野古道は最初からきつい坂道の出迎えを受け71歳の私には少々堪えました。同行者の方が「テレビで見ると大違いね」との声に思わず苦笑しました。流れる汗を拭きながら、やっと平坦な古道に入り、会話やジョークも聞こえて歩みも早くなり遠い平安、鎌倉のころを思う余裕も出てきました。

往時の熊野詣の苦勞と、観光バスでの詣では苦も質も共に比較になりません、そんなことを考え思ひながら熊野本宮大社に着きました。何かの工事の関係で古道の道程が短かったのが惜しまれます。この古道も含めて周辺の歴史ある建造物や史跡が世界遺産候補に推薦されると聞き及んでいますが、是非実現して将来に亘り大切に受け継がれていくことを願わずにはおられません。

翌日は美しい白浜に迎えられました。私事で恐縮ですがここは45年前に新婚旅行で訪れたところです。今日は老いたとはいえ元気で訪れることができた巡り合せを嬉しく思いました。

2日目に見学する記念館の主、南方熊楠翁については以前に、サンケイ新聞の人物像連載の中で知り偉大なる名声に接していましたので少しは関心がありました。見学して改めて再認識した次第です。本人を記した書を一冊買い求め、これからの拝読を楽しみにしています。

旅行好きな私はよく出かけます。知らない所での知らない人との出会いがとても好きです。特に今回は企画・人・食・天気と良いこと尽くしでした。「人生は旅である」好きな言葉です。次回も楽しみにしています。末筆ながらハートランド推進財団のますますの発展とご一緒させていただいた皆様のご健勝を祈念申し上げ感想といたします。